

ホームタンク自主点検のススメ

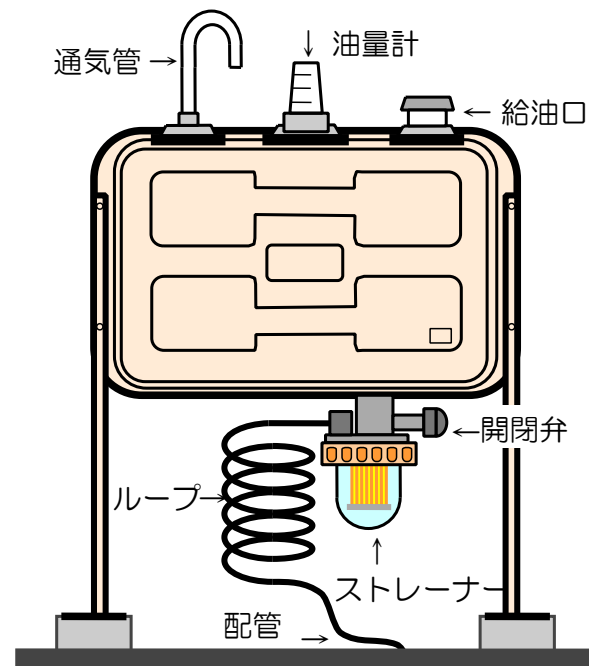
雪が少ないとはいえ朝夕のシバレは体にこたえます。

暖房器具様々の生活がまだまだ続きますが、節分が過ぎるとやがて北国にも春が…、待ちどおしいですが、この時期ホームタンクから油が漏れていた…、土壌回復に多額の費用がかかってしまった…等々、予想していない事故がある（市消防本部予防課）そうです。

「ウチは大丈夫だろう…」と過信せず、ホームタンクの自主点検をおススメします。

不具合が発見されるかもしれませんよ。

●各部の名称



●屋外ホームタンクチェックシート

区分	点検項目	あり	なし
周囲	タンク周辺で灯油臭はありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	タンク下部の地面に油シミ等はありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	近くの排水溝や河川に油は浮いていませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	落雪等によって転倒の危険性はありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	タンクの周囲に燃えやすいものはありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
タンク本体	タンク外面・下部・脚部に錆びはありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	油量計や給油口の損傷で雨水等がタンク内に入りませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ストレーナーにひびや割れや灯油のにじみはありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ストレーナー内がゴミや錆び等で汚れていませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	通気管に目詰まりはありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	タンクの転倒防止措置は十分ですか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
配管	露出している配管に損傷はありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	開閉弁（バルブ）に損傷や灯油のにじみはありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	タンクと配管の接続部に損傷防止措置（※1）をしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	屋内の床下・燃烧機器の周辺から灯油臭はしませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	草刈りや除雪作業で配管を損傷させる可能性はありませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	灯油の在庫量の減りが早くなっていませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	定期配送時の給油量が急に増えていませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 損傷防止措置：金属可動式管継手若しくは配管にループの作成

問い合わせ 花巻市消防本部予防課 0198-22-6123

令和6年春の全国火災予防運動 R6.3.1（金）～7（木）

統一標語 火を消して 不安を消して つなぐ未来

十二盆

発行日 令和6年 2月15日 /第111号
 発行 土沢地域づくり会議 代表 新田繁夫
 〒028-0115
 花巻市東和町安俵6区53番地
 TEL 0198-42-3255 FAX 0198-42-4234

♪ おみそ な～ら 手づくりで

1月23日（火）東和町グリーンツリーズム運営協議会の藤本眞津子氏と菅原千江子氏を講師に味噌づくりを行いました。参加者は16名。

3回目となる今回は「りゅうほう」と岩塩を使い出来上がり重量4kg分の味噌を仕込みました。

ゆであがった大豆を足でつぶし、麴と塩と丁寧にこねて空気が入らないように樽に詰めました。

3回連続で受講した参加者もあり、今年の味噌はどんな味に仕上がるか楽しみとの声が聞かれました。



①大豆をつぶし

②たたいてたたいて



③麴と塩をなじませて

⑦入れ終わったら平らにする



④こねてこねて

⑧半年過ぎたら天地返し、11月ごろから食べられます



⑤塊をつくって

⑥樽につめる

土沢地区の人口と世帯数

令和5年12月末日現在

行政区	日本人住民						外国人住民			
	世帯数	男	女	計	出生	死亡	世帯数	男	女	計
土沢第1（新地・百ノ沢）	123	170	178	348	1	1	0	0	1	1
土沢第2（鎗町）	134	136	165	301	0	3	1	1	3	4
土沢第3（中町・下町）	150	166	180	346	0	0	9	1	9	10
土沢第4（駅前・上町）	178	180	215	395	0	1	7	7	0	7
土沢第5（前郷・八日市場）	132	178	183	361	0	0	0	1	0	1
土沢第9（六本木）	245	289	333	622	0	2	17	7	10	17
合計	962	1,119	1,254	2,373	1	7	34	17	23	40

※この表は花巻市住民登録人口集計表を参考に作成しています。

一発逆転…最高で～す

新地、百ノ沢自治会



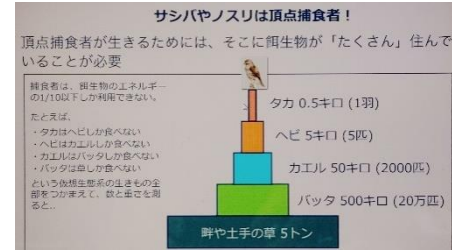
ここは環境も豊かです

—12/9 室内レク—

保健文化部のおせわで楽しかった室内レク 19名が参加コロナ感染の心配があるとはいえ、ほぼ普段の生活に戻ってきた12月9日、百ノ沢公民館でフロアカールを楽しみました。

男性13名女性6名が参加、ほとんどの人にとっては初めての競技です。8チームに分かれ、予選はリーグ戦、勝ち上がった4チームはトーナメント戦です。

初めは戸惑っていた方も、少しずつコツをつかみ真剣な中にも、笑いあり、拍手あり、頭を抱え残念がる人、最後の一投で大逆転し思わずガッツポーズの出る人、床の微妙なすきまや穴で、まっすぐ進んでいくはずのストーン（下に滑車がついている）が、横倒しになったり、転がったり、爆笑もしばしば・・・。



新地・百ノ沢は自然環境が特に豊かですね…と。藤田先生のお話に聞かせる

—10/24 生き物懇談会—

新地・百ノ沢を中心に渡り鷹サシバと一年をとおし見られるノスリの調査研究をされている藤田先生（東大農学部）のお話会が新地公民館で行われ、12人の方が熱心に耳を傾けられました。

お話の中で印象的だったのはこの地域は自然環境が特に豊かで、サシバやノスリの食べ物であるネズミやカエル、ヘビ、カナヘビなどが多くいる。そのため関東以西の地域のように大きな森がなくてもサシバは生活できているということでした。

タカ一匹が育つためにはカエル2千匹が、そのカエルが育つにはバッタ等が20万匹が、その昆虫を育てるには草が5トン必要とのことでした。

【文責…土沢第1行政区 太田 求】

笑いの絶えなかったフロアカール



土沢第3区自治会の活動

土沢第3行政区 中下



令和5年度の行事の一部を紹介します。

令和6年1月3日に、新年交賀会を行いました。

鐺八幡神社一ノ倉宮司にお願いして還暦と来賓及び自治会員が、玉串を神前にお供えして今年の無病息災を祈願しました。

一年の安泰を願って玉串を捧げました

臼での餅つきに苦労しました



令和6年1月8日[成人の日]には、小正月行事を行いました。世代間交流の場ともなっています。

まずは餅つきからです。児童は、本格的に臼での餅つきをしましたが、きねが重い上、かってが分からず苦労しました。次は、的当てゲームで楽しみ、同点決勝の場面もあり盛り上がりました。そして、ゲームの表彰式の後は楽しみの食事会です。みんなでついた餅を、汁餅、あんこ餅などにしおいしくいただきました。

【文責…土沢第3行政区 佐藤 良之】



的当てゲーム、ナイスピッチング！



待ってました！楽しい食事会です

土沢地域づくり会議 理事 2名を公募

令和6年度・7年度の土沢地域づくり会議理事2名を公募します。

理事の任期は2年で、年に数回の理事会に出席し、事業の実施・運営に関することなどを協議、決定します。

生活環境の整備や保健福祉、教育文化の向上に関する事など、土沢地区の将来を見据えた安全安心のまちづくりのためにご協力をお願いします。

お問い合わせは土沢地域づくり会議（42-3255）までお願いします。

ふる歴コーナー

藤原氏との交流…確かな証 丹内山神社の経塚



令和3年2月15日発行「十二鐺」75号で紹介しておりますが、丹内山神社経塚から発見された中国産の白磁四耳壺・湖州鏡・石製の経筒は、平安時代・鎌倉時代の作とされ大変珍しく当地が平泉藤原氏と深い関係にあり、支配が終わってからも宗教性の高い地区であったことを物語っています。

コミセン内に併設されている「ふるさと歴史展示室」から東和の歴史を紹介しています。 <展示パネル引用>